



DNW-14015 の概要

課題番号 : DNW-14015

課題名 : がん間質を標的とした抗体・薬物複合体の開発

主任研究者 (Principal Investigator) :

松村 保広 (国立研究開発法人国立がん研究センター先端医療開発
センター)

課題番号 DNW-14015 では、不溶性フィブリンを標的として、新たながん治療薬の創出に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :

不溶性フィブリンに特異的な抗体を用いたがん治療薬

- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :

以下のことを創薬ブースター支援により明らかにした。(実験調査報告書 公開部分より)

1. 抗不溶性フィブリン抗体-薬物 (Monomethyl auristatin E, MMAE) 複合体 (Fbn-ADC) は、フィブリンの非存在下でのみ *In vitro* 殺細胞効果を示した。一方、コントロール抗体-ADCは、フィブリン存在、非存在下いずれにおいても殺細胞効果を示さなかった。
2. Fbn-ADCは、ヒト膵がん細胞株5-11のヌードマウス皮下移植モデルにおいて、コントロール抗体-ADC、MMAEのみおよびPBSに比べ有意に抗腫瘍効果を示した。
3. Fbn-ADC のみが、KPC マウスの自然発生膵がんモデルにおける治療実験において、有意に生存期間の延長を認めた。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。